

一社 全国養殖魚類輸出振興協議会

日本産水産物・水産加工品PR in FHM2023 クアラルンプール



場 所：Food & Hospitality Malaysia (FHM)
Kuala Lumpur Convention Centre
期 日：2023年9月19日～22日

マレーシアはマレー系の人種が60%、中華系が25%、インド系が7%といったような多民族国家として知られ、多様な食文化を有しています。マレーシアには多くの日系企業が進出しており、一人当たりのGDP（USD12,465.61 2022年）はASEAN内3位であり、近年和食レストランが急速に伸び、刺身、寿司人気が高く、和食商材の輸出額が増えています。ふぐ製品も輸入解禁され、日本産水産物に対する認知度が徐々に高くなってきました。



隔年開催されるフード&ホテルマレーシアは、マレーシアで開催する有数の食品飲料およびホスピタリティ展であり、会期中約25,000名もの食品業界関係者が来場し、プロ向けのネットワークを広げる絶好なチャンスとなります。会期中、マレーシアを中心に、シンガポール、インドネシア、タイ、ブルネイ、ベトナムなど東南アジア諸国から業者が多数ブースに立ち寄り、日本産水産物に大きな関心を示しました。



クアラルンプールコンベンションセンター

KLCC（クアラルンプールシティセンターエリア）にあります。クアラルンプールの近代化を象徴するエリアでもあります。



ブースの様子



商談中の様子



中国系マレーシア人、マレー系マレーシア人のスタッフが来場者に商品の紹介をしている様子。多人種の来場者がブースに立ち寄り、毎日大勢の来場者に対応できました。

試食の商品写真（一部）



牡蠣製品



タコ、かれい、す
るめいか、たら



練り製品



ふぐ製品



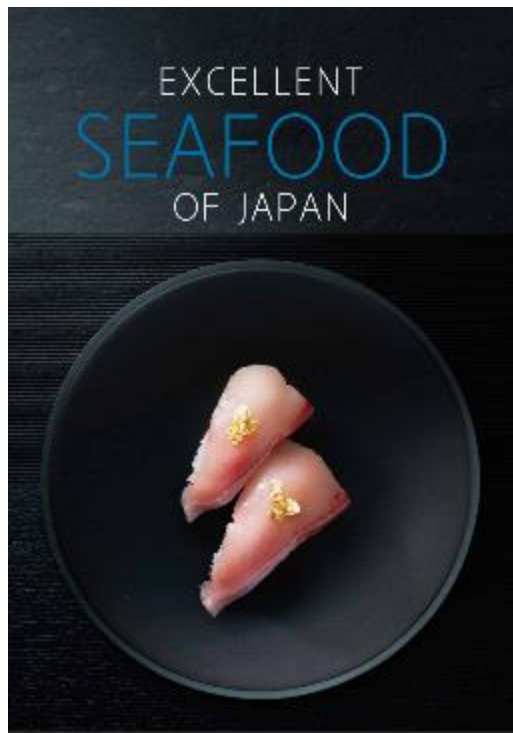
日本海甘エビ



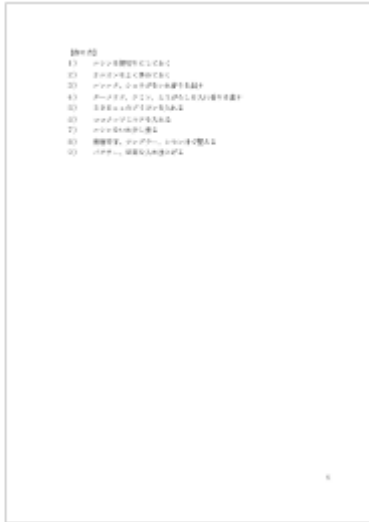
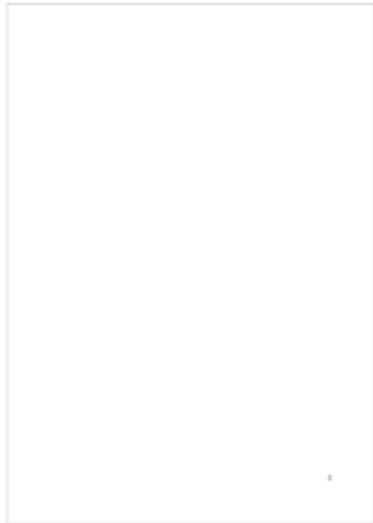
イクラ製品



展示会中、ALPS処理水に関する画像(外務省 Why is the discharge of ALPS treated water safe? <https://youtu.be/PU1s2ISKe5I?si=0DaGvOZkv59ifsFf>) をモニタースクリーンで常時放映し、具体的に質問するバイヤー、レストラン関係者に英語、中国語にて日本産水産物の安全性をアピールしました。



日本産水産物および水産加工品の冊子（英語版および中国語版）を配布



• 日本産たら、にしんを現地の食文化に合わせて考案したレシピ冊子を配布